

民間団体との連携を強化する

ところをつなぐ仲間づくりフォーラム

=地域ネットワーク構築にむけて=

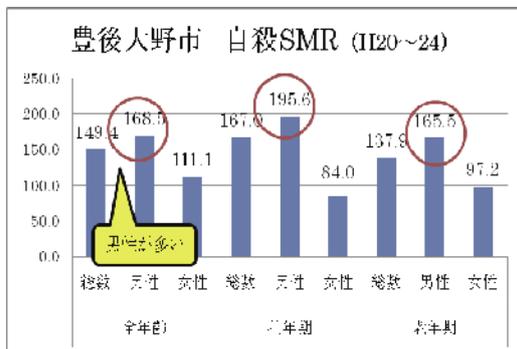
(実施期間) 平成22年度～平成25年度 (基金事業メニュー) 普及啓発事業
 (実施経費) 平成25年度 2,947千円 (実施主体) 大分県豊後大野市
 (2,947千円)

【事業の背景・必要性・目的】

豊後大野市の自殺SMR（標準化死亡比、H20～24）は大分県下で最も高く、市では地域自殺対策緊急強化基金を活用し、平成21年度から平成25年度までの5か年計画で自殺対策事業に取り組んできた。目的は、「自殺のない町、住みよい地域づくり」とし、自殺対策の地域ネットワークを構築して地域で自主的な取り組みが展開されていくことをめざしている。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

豊後大野市は人口 37,890 人、（H25.10.1 日現在 毎月推計人口）。自殺者の特徴としては男性が女性の約3倍、50代、70代の男性が多い。



(出典：豊後大野市市民生活課)

【事業目標 事業内容】

推進体制

市自殺対策連絡協議会(委員20名)

自殺対策委員会(市役所 各課長で構成)

作業部会(市役所 関係課職員で構成)(事務局:健康推進室)

取り組みの柱と事業

①普及啓発
 プルゾン等の着用・講演会
 9月の街頭キャンペーン
 市長も参加！
 ところをつなぐ仲間づくりフォーラムの開催

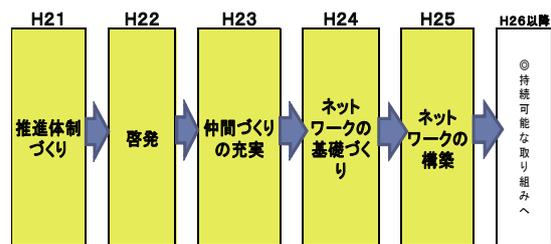
②相談体制の強化・充実
 豊後大野市こころのホットラインの開設(こころの相談支援専門員配置)

③関係機関ネットワークの連携強化
 相談窓口間の連携のための会議の開催

④地域の支援者育成
 ゲートキーパー養成研修

⑤遺族の方への支援
 遺族支援会編・保健師による訪問

豊後大野市自殺対策 取り組みの方向性



取り組みとしては、①普及啓発、②相談体制の強化・充実、③関係機関ネットワークの連携強化、④地域の支援者育成、⑤遺族支援の5つの柱がある。

【事業実施にあたっての運営体制】

自殺対策の推進体制は、健康推進室を事務局とし、市職員で構成する作業部会・委員会があり、市内の各種団体のメンバー20名で構成される自殺対策連絡協議会にて、事業の推進・連携強化を行っている。

【事業の工夫点】

本市の自殺対策は「支えあう町づくり」であるととらえていることから、事業を展開する際は市民の力を借りて、市民と共に取り組むことを意識してきた。「自殺のない町をめざして、地域で取り組めることを考え語り合おう」と、7つの町ごとに住民組織、ゲートキーパー、PTA等が中心となり実行委員会を立ち上げ、市内9会場にて「ところをつなぐ仲間づくりフォーラム」を開催してきた。

民間団体との連携を強化する

内容は、市の現状説明、講演、意見交換である。「地域で集う場が大事」「ひとりぼっちをつくらない」「地域で声かけ、見守りをしよう」「役割、出番を作ろう」などという意見がどの会場からも聞かれるようになり、少しずつ地域の特徴を生かした取り組みとなってきた。

さらにフォーラムだけに留まらず、清川町雨堤地区では、「荒れた農地を生かして地域の集まりを取り戻そう」とふれあい農場を作り、「金ごま」作りの取り組みが始まった。また地域住民にフォーラムの様子を知ってもらおうと、手作りの広報誌を作成して配布したり、子どもや高齢者への「声かけ見守り活動」を始める地域も出てきている。また「ゲートキーパーになろう」との声かけが増え、4年間で養成研修受講者が491人と増えて、普及啓発事業が人材育成事業にまで広がってきた。



仲間づくりフォーラムの様



金ごま作りの作業風景

【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

① 「仲間づくりフォーラム」は、平成 24 年度は 9 会場で延べ 822 名、平成 25 年度は 968 名の参加があった。平成 24 年度のアンケートからは、自殺率が高いという市の現状を知っている人は 74%、市のこころの相談電話の周知度は 66%であった。

②平成 25 年度の自殺対策講演会において行ったアンケートでは、市の自殺対策の取り組みについて知っていた方は 95%であった。また自殺のないまちづくりのために必要なことには 67%の方が「声かけ・見守り」と回答した。

③平成 24 年度に行った「心の健康についての意識調査」では、平成 20 年度に行った調査と比較した結果から、

- ・自殺に対する認識を見ると、「自殺の前兆を示す人は多い」などといった正しい認識の回答割合はいずれも上昇（1.3 倍～2.4 倍）した。
- ・また、身近な人から自殺念慮を打ち明けられた時の対応として、「傾聴」が増加、「励まし」は減少し、適切な対応が知られるようになった。
- ・精神的不調がある人のうち、自殺念慮があるかないかについては、「そばにいてくれる人、悩みを聴いてくれる人、思いやってくれる人がいれば、精神的不調の中にあっても自殺を考えずに済む」可能性が示唆された。

★豊後大野市の自殺者数は平成 20 年に 19 名だったものが平成 25 年は 8 名にまで減少した。意識調査からも住民の意識の変化などが伺える。これも各町ごとに行われた「こころをつなぐ仲間づくりフォーラム」をはじめ、これまでさまざまな形で行われてきた自殺対策啓発活動の成果ではないかと考える。

自殺対策は「住みやすい地域づくり」である。今後は継続した息の長い取り組みを行っていくために、顔と顔、人と人がつながるネットワークの構築を行いながら、住民が主体的に活動できるように市民と共に歩んでいきたい。

(問合せ先)

大分県豊後大野市役所 市民生活課

TEL:0974-22-1001

E-mail: ka7059@bungo-ohno.jp URL: <http://www.bungo-ohno.jp>